Vol.80
まるとみ新聞
newspaper
'21 Oct.
発行所
北九州市若松区本町1-1-33
丸富産業（若松区役所前）
TEL093-751-1081
すまいde スマイル
3年10月号

住まいの雑学 TRIVIA

ゴミ問題の歴史

日本人の衛生意識はむかしから高かったんだね。

遷都したのはゴミのため？

7世紀半ばから8世紀にかけ日本では10回以上も遷都が行われましたが、その理由のひとつにゴミの問題があったといわれています。

平城京から平安京への遷都もゴミを処理しきれなくなったからという説もあるようで、当時まちなかにはゴミがあふれていました。そのため平安時代には宮中の掃除に携わる官職が設けられ、法律でも清掃について多くのことが決められていたようです。

江戸時代の処理システム

江戸幕府が開かれると江戸のまちには多くの人が集まり、ゴミ問題が深刻化します。人びとが空き地や堀、川へゴミを投棄するのでたびたび禁止令や触れ書きが出されましたが、効果なし。

そこで4代将軍家綱は幕府指定の投棄場をつくり、町じゅうのゴミをそこに集めることにしました。町人はそれぞれ決まったゴミ出し日に決められた場所へゴミを出し、それを請負業者が集めて船で処分地まで運ぶという流れ。投棄場がいっぱいになれば埋め立てて別の投棄場をつくる、というみごとなゴミ処理システムが確立したのです。

また幕府はゴミの不法投棄を取り締まる役人（芥改役）を設けて帯刀を許可するなど、まちをきれいに保つ取り組みの本気度がわかります。

日本は昔からキレイ好き

当時世界のどの都市もゴミ問題を抱えていましたが、いちばんの悩みはし尿処理。そのころヨーロッパでは生ゴミもし尿も窓から道路にそのまま捨てていたのですが、日本では鎌倉時代にくみとり式のトイレが発明され、し尿を肥料として利用するしくみができていたため、外国人の書いた文献によれば当時のヨーロッパに比べて江戸のまちはきわだって清潔だったようです。

時代とともにゴミも変化

そして明治時代、公衆衛生の向上を図るため「汚物掃除法」が制定され、ゴミ問題はやがて1970年の「廃棄物処理法」に代表されるように公害問題と生活環境の保全に重点がおかれるようになります。さらに90年代からは循環型社会の構築をめざして各種リサイクル法が次々と整備されるようになり、いまやゴミ問題は地球規模で考える環境問題となっています。

トコロ変われば

免許取得に4年かかる国も

■世界の国々

教習所の費用は高いけど日本は最短13日で免許取得可能！

世界のどの国でもクルマの運転には免許証が必要ですが、先進国では筆記と実技の試験を受けて取得するのが一般的。イギリスやアメリカではまずオンラインで申請や基本テストで仮免許を取得し、免許保持者を乗せて路上で練習します。実技試験も一般道なので費用は数千円です。

ロシアでは日本のように教習所に通って取得するのがふつうですが、学科150時間、実技56時間、厳しい技能試験が2回で3～4か月かかります。また費用がもっとも高いのがスイスで44万円ほど。日本は第2位です。

一方オーストラリアはイギリス方式なのですが、取得した仮免許①で120時間以上運転して試験に合格すると仮免許②、その後1年間問題がなければ仮免許③、さらに2年後の試験に合格してやっと本免許がもらえるといいますからおよそ4年の長い旅路です。

ただしもっとも取得が難しいのはフィンランド。交通ルールが厳しく、教習では凍結した道路（北欧では必須）、雨の日、夜間（冬は極夜で太陽が昇らない）の運転に加えてメンテナンスもしっかり身につけるんだそうです。

リフォームの基礎知識 Basic Knowledge

和室には紙・木粉・繊維などが主原料のセンイ壁や、砂壁が多かったね。

◇左官壁（塗り壁）の基礎知識

伝統的な壁の工法である左官壁は、職人がコテや刷毛を使い熟練の技で仕上げるもので左官工法、湿式工法とも呼ばれます。手仕事なので時間もコストもかかりますが、どのようなデザインの住宅でも継ぎ目のない美しい壁をつくれるのが特徴。近年では天然素材ならではの安全性や防火性、耐久性、調湿性による防カビ・防ダニ・消臭効果が注目され人気が高まっています。

■土壁
各地で産出される土を主材料に茶室などの和風建築に用いられてきました。仕上げ塗りの土によって「聚楽（じゅらく）壁」「錆砂（さびすな）壁」「大津（おおつ）壁」などと呼ばれます。

■漆喰（しっくい）
消石灰に海藻糊、すさ（麻）などを混ぜたもので、昔から城や土蔵、押し入れの壁などに使われてきました。真っ白なイメージがありますが、いまは顔料などを加えることで多彩な色が選べます。

■モルタル
セメントに砂（細骨材）と水を混ぜたもの。用途が広く下地づくりにも仕上げ材にも使います。あえて無塗装にしたコンクリート打ちっぱなしのような仕上げには人気があります。

■珪藻土
主材料は植物プランクトンの一種、珪藻の殻が海底等に堆積した土。多孔質であることからホルムアルデヒドなどの化学物質を吸着・分解し、保温性、断熱性、遮音性、調湿性にもすぐれています。

■白州（シラス）壁
南九州で産出される火山噴出物のシラスは、マグマの超高温で焼成された高純度セラミック物質。他の火山噴出物とはまったく異なる性質をもち、消臭・分解・殺菌・イオン化などの機能を発揮すると考えられています。多孔質であることから珪藻土と同様の機能性を有し、施工後の風合いも独特です。

ちがいはナニ？

こういう用語はぜひとも統一してほしいものです。

サインインとサインアップ

サインインとサインアップはどちらもウェブサイト等を利用する際にIDやパスワードなどを入力して身元を証明する手続きですが、「サインイン」はすでに会員になっているサービスやサイトを利用するときに使い、「サインアップ」は新規で加入申し込みや会員登録することを意味する用語です。

そしてサインインと「ログイン」「ログオン」「サインオン」は同じ意味。それぞれの対語はイン→アウト、オン→オフなのでサインアウト、ログアウト、ログオフ、サインオフです。

これはもともと一般的だったログインに対して、自社独自の用語を定着させたかったマイクロソフトがログオンを使用し（現在はサインイン）、IBMがサインオンを使うなど各社バラバラだったため。

ちなみにログインのログは「記録」。かつて丸太（log）を海に投下して船の速度を測り、それを航海日誌（logbook）に記録していたことに由来します。

すまいるライフ おしえて仙人！